



## CompTIA Network+ N10-008 とN10-007 出題範囲の比較

組織とITプロフェッショナルは、セキュリティに対する懸念の高まり、ハイブリッドでの作業環境といった新たなネットワークの課題と複雑さに直面しながらも、最大のパフォーマンスを出し、生産性が向上することが求められています。今日のデジタル社会では、組織は、セキュアで高い接続性を保ち、そして柔軟性があるネットワークを利用できていることが、これまで以上に重要になっています。CompTIA Network+のアップデートでは、ネットワークエンジニアに求められる現在のスキルを反映し、今日のネットワーク環境を効果的、かつ効率的にサポート、最適化できるスキルを習得することを可能とします。

CompTIA Network+は、ビジネスのゴールをサポートするために必須とされるネットワーク接続の維持、デプロイ、トラブルシューティングするために必要なスキルを評価し、今日直面している多くの問題に対応できるようなスキルを習得できるよう更新がされました。

CompTIA Network+は、ISO/IEC 17024規格に準拠していることをANSIにより認証されています。また、米国国防総省指令 8570.01(DoD Directive 8570.01)により承認され、連邦情報セキュリティ管理法 (FISMA) に基づく政府規制に準拠しています。



## 出題範囲の比較

下記の表は、CompTIA Network+ N10-008とN10-007の出題範囲の比較表です。

N10-008	N10-007	COMMENTS	MAPPING
1.1 Open Systems Interconnection (OSI) 参照モデルの各レイヤーと、カプセル化のコンセプトを比較対照することができる。	1.2 適切なOSIレイヤーのデバイス、アプリケーション、プロトコル、サービスを説明することができる。	N10-008では、「データのカプセル化」が追加されました。	項目の追加
1.2 ネットワークのトポロジーとタイプを説明することができる。	1.5 与えられたシナリオに基づいて、適切なワイヤレステクノロジーと構成を実装することができる。	「IoTテクノロジー」は移動されました。	項目の移動
1.3 ケーブルとコネクターの各タイプを要約し、どれが特定のソリューションに適したタイプかを説明することができる。	2.1 与えられたシナリオに基づいて、適切なケーブル配線ソリューションを展開することができる。	専門分野と適切な職務に対応するため、「ケーブルの管理と実装」は実践の認知レベルでは評価されなくなりました。	認知レベルの変更
1.4 与えられたシナリオに基づいて、サブネットを構成し、適切なIPアドレス指定スキームを使用することができる。	1.4 与えられたシナリオに基づいて、適切なIPアドレスのコンポーネントを構成することができる。	「IPv6アドレス」に関連するコンテンツが追加されました。	項目の更新
1.5 一般的なポートとプロトコル、それらの用途、および暗号化された代替手段を説明することができる。	1.1 ポートとプロトコルの目的と利用について説明することができる。	大きな変更はありません。	
1.6 ネットワークサービスの使用と目的を説明することができる。	1.8 ネットワークサービスの機能を説明することができる。	大きな変更はありません。	
1.7 基本的な企業とデータセンターのネットワークアーキテクチャを説明することができる。		「SDN」などデータセンターやエンタープライズでのユースケースが増加することカバーする新しい項目。	新しい項目
1.8 クラウドのコンセプトと接続性に関する選択肢を要約することができる。	1.7 クラウドの概念とその目的を要約することができる。	「デプロイメントモデル」と「infrastructure as code」が追加されました。	項目の追加
2.1 様々なデバイスとその機能、およびネットワークへの適切な配置を比較対照することができる。	2.2 与えられたシナリオに基づいて、ネットワーク上における適切なネットワーク機器の配置を決定し、設置／構成することができる。	特定の目的でのIoT、IPS、IDSの項目が追加されました。	項目の追加
	2.3 高度なネットワーク機器の目的と利用事例を説明することができる。		
2.2 ルーティング技術と帯域幅管理のコンセプトを比較対照することができる。	1.3 ルーティングとスイッチングの概念と特徴を説明することができる。	「ルーティング」と「帯域幅」は、概念の認知を高めるため、1つの項目とされました。	
2.3 与えられたシナリオに基づいて、イーサネットの一般的なスイッチング機能を構成、デプロイすることができる。	1.3 ルーティングとスイッチングの概念と特徴を説明することができる。	「スイッチング」は、出題項目としてカバーされていましたが、展開と実装を確実なスキルとして習得するために実践的な技術レベルとして項目が追加されました。	認知レベルの変更

N10-008	N10-007	COMMENTS	MAPPING
2.4 与えられたシナリオに基づいて、適切なワイヤレス規格とワイヤレステクノロジーをインストールし、構成することができる。	1.6 ネットワークトポロジー、種類、テクノロジーの特徴を比較対象することができる。	大きな変更はありません。	
	4.3 与えられたシナリオに基づいて、基本的なワイヤレスネットワークをセキュアに接続することができる。		
3.1 ネットワークオペレーション与えられたシナリオに基づいて、適切な統計とセンサーを使用し、ネットワークの可用性を確保することができる。	3.3 一般的なスキャン、モニター、パッチプロセスについて説明し、期待されるアウトプットを要約することができる。	この出題項目では、ネットワークパフォーマンスと可用性を含む、ネットワークの監視に重点が置かれています。認知レベルは、職務をより適切に遂行するために実践的な技術レベルとして項目が設定されています。	認知レベルの変更
3.2 組織の文書とポリシーの目的を説明することができる。	3.1 与えられたシナリオに基づいて、ネットワーク管理のために適切な文書と図面を使用することができる。	特にビジネスの指示に関して、組織内のネットワーク管理の性質の変化を反映するようにドキュメントが更新されました。職務を反映するために認知レベルは低くしています。	認知レベルの変更
	3.5 ポリシーとベストプラクティスを特定することができる。	この出題項目は、組織の文書としてグループ化されています。	項目の変更
3.3 高可用性と災害復旧のコンセプトを説明し、どれが最適なソリューションかを要約することができる。	3.2 事業継続と災害復旧の概念を比較対象することができる。	「冗長性」と「高可用性」が強調されたため、出題項目が拡充されています。	項目の更新
4.1 一般的なセキュリティのコンセプトを説明できる。	4.2 認証とアクセスコントロールについて説明することができる。	「防御セキュリティ」と「リスク管理」の概念が追加されました。	項目の更新
4.2 一般的なタイプの攻撃を比較対照することができる。	4.4 一般的なネットワーク攻撃を要約することができる。	「ソーシャルエンジニアリング攻撃」と「テクノロジーベースの攻撃」を区別するために出題項目が整理されました。	項目の更新
4.3 与えられたシナリオに基づいて、ネットワークのハードニング手法を適用できる。	4.5 与えられたシナリオに基づいて、ネットワーク機器のハードニングを実装することができる。	「ワイヤレスセキュリティ対策」と「IoTアクセスの考慮事項」が追加/更新されました。	項目の追加
4.4 リモートアクセスの各手法と、それがセキュリティに与える影響を比較対照できる。	3.4 与えられたシナリオに基づいて、適切なリモートアクセス方式を使用することができる。	改訂された出題範囲では、コンテンツへのセキュリティファーストのアプローチを反映しました。また、職務に必要な知識をより適切に反映するために認知レベルを更新しました。	項目の更新
4.5 物理的セキュリティの重要性について説明することができる。	4.1 物理的セキュリティデバイスの目的を要約することができる。	データセキュリティの重要性が含まれるように更新されました。	項目の更新

N10-008	N10-007	COMMENTS	MAPPING
5.1 ネットワークのトラブルシューティング方法について説明することができる。	5.1 ネットワークのトラブルシューティングの手法について説明することができる。	大きな変更はありません。	
5.2 与えられたシナリオに基づいて、ケーブル接続に関する一般的な問題をトラブルシューティングし、適切なツールを選択することができる。	5.2 与えられたシナリオに基づいて、適切なツールを利用することができる。	不適切、または誤作動を起こしているケーブル、もしくはそのケーブルに起因する一般的な接続の問題をより詳細に調査するスキルを問えるよう項目が改良されました。	項目の変更
	5.3 与えられたシナリオに基づいて、有線ネットワークの接続とパフォーマンスの一般的な問題をトラブルシューティングできる。	5.2に統合されたか、もしくは運用技術に振り分けられた項目。	項目の移動
5.3 与えられたシナリオに基づいて、ネットワークソフトウェアの適切なツールとコマンドを使うことができる。	5.2 与えられたシナリオに基づいて、適切なツールを利用することができる。	ソフトウェアツールのみを対象とするように出題項目が更新されました。ハードウェアのトラブルシューティングは、5.2に移動しました。	項目の移動
5.4 与えられたシナリオに基づいて、ワイヤレス接続に関する一般的な問題をトラブルシューティングすることができる。	5.4 与えられたシナリオに基づいて、無線ネットワークの接続とパフォーマンスの一般的な問題をトラブルシューティングできる。	ワイヤレス接続の障害を引き起こす特定の事象が含まれるように再編成されました。	項目の更新
5.5 与えられたシナリオに基づいて、ネットワークに関する総合的な問題をトラブルシューティングすることができる。	5.5 与えられたシナリオに基づいて、ネットワークサービスの一般的な問題をトラブルシューティングできる。	トラブルシューティングの問題と考慮事項の両方が含まれるように項目が拡充されました。	項目の追加